



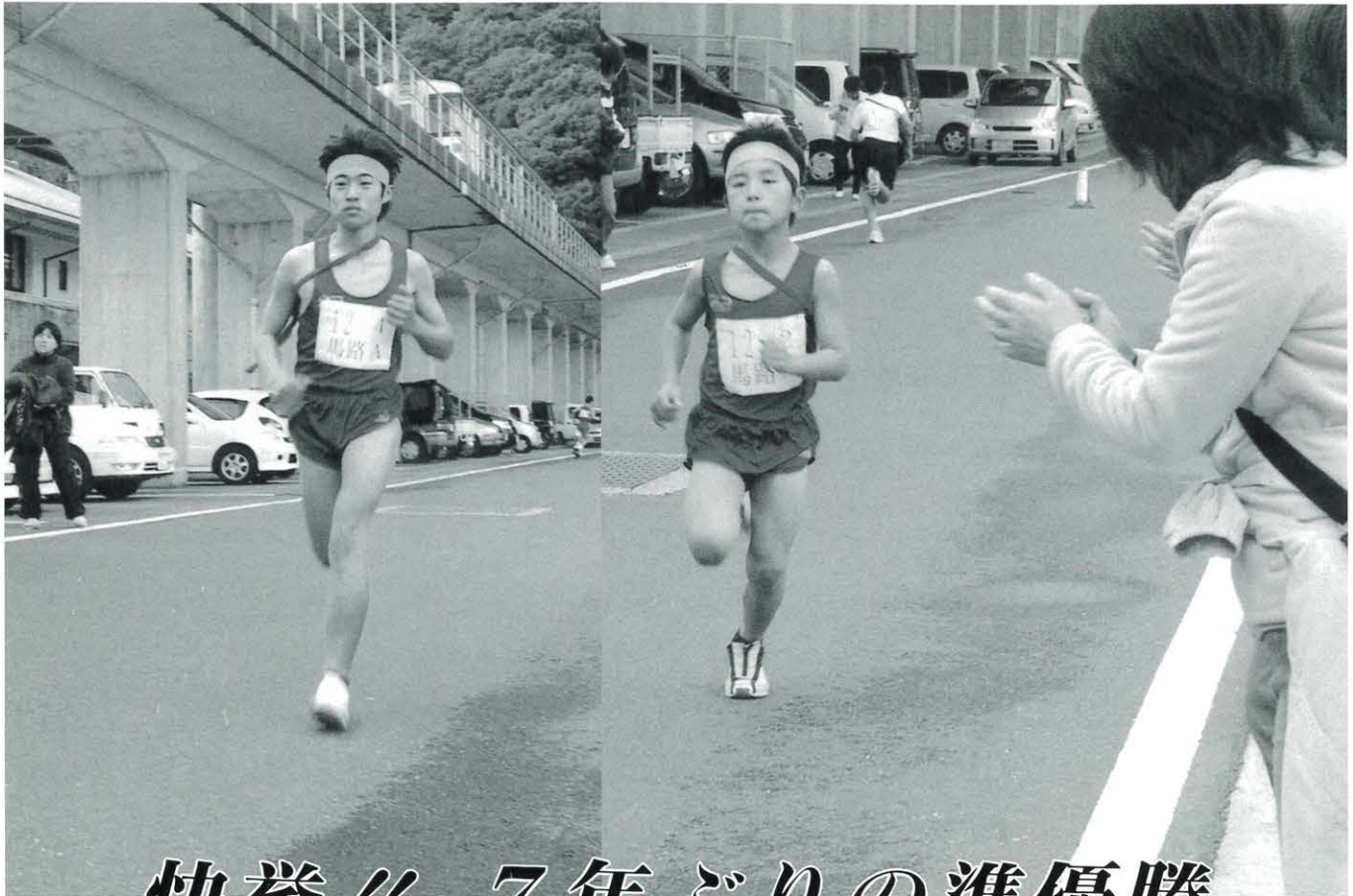
広報

# うまじ

第234号

平成19年4月1日発行

▶ 新記録を出した笹岡祐平くんと笹岡陽平くん



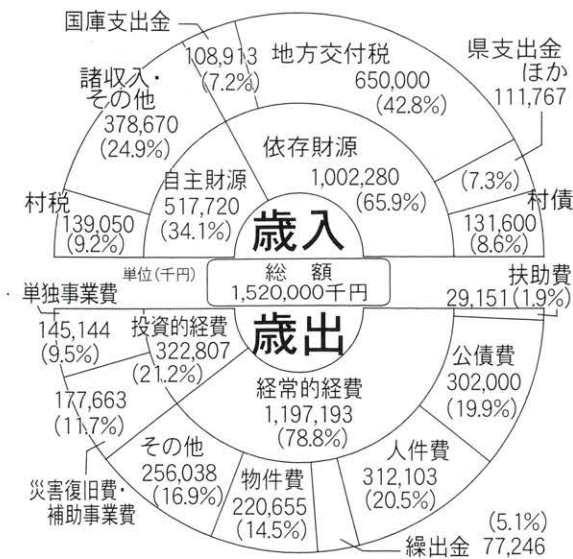
## 快挙!! 7年ぶりの準優勝

### 目次

平成19年度一般会計当初予算	-----	②③
モナッカ ドイツ国際見本市へ	-----	④⑤
授業でキャリア教育を進める	-----	⑥⑦
魚梁瀬青少年育成実行委からの報告 ①	-----	⑧
馬路村の歴史と伝説	-----	⑨
タイ国訪問記	-----	⑩⑪
Mr.カールのフォト・エッセイ	-----	⑫
ふるさとへの便り・フォト人ウオッチング	-----	⑬
お知らせ ほか	-----	⑭
村のできごと・村内あちらこちら	-----	⑮

2月18日、中芸地区子ども駅伝競走大会が開催され、中芸5カ町村と芸西村の小学生23チームが7区間(14.7km)でタスキをつなぎました。村からはスポーツ少年団2チームが出場し、Aチームは2区間で新記録を出す好成績で準優勝を果たし、Bチームも6位入賞と健闘しました。日々、野球で鍛えた持久力が、大きな成果につながっています。

# 平成19年度 一般会計当初予算 15億2千万円



## 前年当初比 4.9%の増 防災拠点魚梁瀬屯所新築

平成19年度の当初予算は、一般会計15億2千万円、前年度当初比4.9%（7千130万円）の増、特別会計を含めた総額では20億7千550万円、前年度当初比5.7%（1億1千250万円）の増となりました。

馬路村では、赤ちゃんの元気な泣き声が響き、子どもたちの元気な遊び声と学ぶ姿、人々が生き生きと働く姿、そしてお年寄りの笑い声が絶えない自立した幸せな村を村づくりの政策としてあげ、村行政の推進にあたっているところだ。

そしてこれらを達成するため、昨年同様①産業の掘り起こしと振興②住民の安全・健康・福祉の向上③少子化への対応④若者の定住と交流人口の拡大⑤行政と住民の共同型地域づくりの五項目について焦点化し、予算編成を行っています。

### 交付税減・歳出増で基金崩す

【歳入】三位一体の改革に伴う税源移譲によって、国税である所得譲与税の一部が市町村民税へ譲与され、約350万円の増収を見込んでいます。しかしながら、地方交付税は引き続き行われる交付税制度等の改革に伴い、2千万円の減少を見込んでいます。

また、歳出総額の伸びなどに対応するため、約3億円の基金取り崩しを予定しています。

### 投資的経費3億2千万円超える

【歳出】目的別に見てみると、主に維持修繕費、補助費、積立金、普通建設事業費が増額となっていますが、人件費、物件費、投資・出資・貸付金、公債費などが減額となっています。特に建設事業費が主となる投資的経費は、林道事業費の増加、魚梁瀬消防屯所建設などに伴い、対前年度比20%増の3億2千280万7千円となっています。

また、地籍調査を継続実施するほか、昨年度ピークとなっていた借金の返済に充てる公債費は、3億200万円と対前年度から1千400万円の減少へと転じています。

### 総務課

《取り組みと事業概要》  
住みやすい村を目指して、活力ある地域づくりに取り組んでいます。

#### ●行政改革

個性あふれる地域づくりと安定した行財政運営を行うため、馬路村行政改革プランを中心とした取り組みを重視し、事務事業の再編・整理と廃止・統合など、さらに踏み込んだ行政改革に取り組みしていきます。

●魚梁瀬消防屯所建て替え  
老朽化が進み、緊急課題と

### 健康福祉課

住民の安全・健康・福祉の向上を目指し、保健指導と意識啓発および疾病予防対策に取り組み、特に働き盛りの年齢層から後期高齢者にいたるまでの健康づくり事業を体系的に行っていきます。

●全国まちづくり交流会  
先進的なまちづくりに取り組む全国の市町村や団体とともに、交流人口の拡大とまちづくりの新たな発想や方向性を見出すため、農協をはじめとする村内各事業所などと連携し、全国まちづくり交流会の開催に取り組みます。

#### ●健診と保健指導の充実

健診の目的を「疾病の早期発見」から「予防」重視へ転換、若年からの受診を推進し、健康に興味を持たせるとともに、生活習慣病の改善が必要な方を抽出し、対象者に応じ

た保健指導へつなげます。

●福祉の拠点

在宅でいつまでも暮らせるように、デイサービスセンターの再構築を行います。安心で、頼られるきめ細かな介護サービスの提供が受けられる体制づくりに努めます。



あいあいクラブでは、いきいき百歳体操など、介護予防のための自主的な活動を続けています。

●事業所訪問出前健康講座

新たに二事業所を対象に医師、保健師、栄養士などを派遣することで、現場で即、健康づくり講座を開設します。なお、十八年度に実施した事業所においても継続的にかかわりを持ち、安全、健康増進に努めます。

会計別予算額と対前年度比較表

区分	平成19年度 予算額 A	平成18年度 予算額 B	比較 A-B	増減率 (A/B×100)-100
一般会計	1,520,000	1,448,700	71,300	4.9%
特別会計				
簡易水道	31,000	34,100	△3,100	△9.1%
国保	167,500	119,500	48,000	40.2%
診療所	102,200	104,400	△2,200	△2.1%
老人保健	235,000	232,800	2,200	0.9%
介護サービス	19,800	23,500	△3,700	△15.7%
計	555,500	514,300	41,200	8.0%
合計	2,075,500	1,963,000	112,500	5.7%

●安全と環境

安田川の清流を守るための取り組みとして、現在婦人会を中心に合成洗剤から、自然や人に優しい植物性の洗剤に移行する準備が行われています。実際に一定期間使用することで、その結果を基に意識啓発を進めます。今後、村あげでの取り組みとなるよう、対策を講じていきます。

平成19年度村民一人当たりの一般会計予算額

1,348,713円/人…(15億2千万円/3月住基人口1,127人)

<b>消防費</b> 58,388円 中芸消防署(消防・救急) 魚梁瀬消防屯所建設など 	<b>農林水産費</b> 276,040円 農道、林道、村単小規模など 	<b>総務費</b> 217,327円 住民票、戸籍、選挙、統計、有線放送、交通安全など 
<b>教育費</b> 99,505円 小中学校、教育委員会、フルマラソン大会など 	<b>商工費</b> 42,073円 観光、商工会、納涼祭など 	<b>健康福祉費</b> 310,026円 保育所、健康診断、年金、ごみ処理など 
<b>災害復旧費</b> 3,336円 農地・道路災害など 	<b>土木費</b> 32,970円 村道、河川管理、公営住宅など 	<b>その他の経費</b> 309,048円 議会、借金返済など 

平成19年度当初 基金残高見込み	15億1千万円	平成19年度当初 地方債残高見込み	24億2千万円
一人当たり貯金額	1,339,840円	一人当たり借金額	2,147,294円

産業建設課

資源を生かした産業の育成と、生活基盤の整備に取り組み、魅力と活力のある地域づくりに取り組めます。

●国土調査

二年目の今年度は、調査面積を昨年の約二倍に拡大し、上坪地区を中心に実施します。地権者の皆さまには、ぜひご協力をお願いします。

●農業の振興

農協が取り組むユズ栽培農

地造成を支援するとともに、栽培農家の実態調査を進め、原料確保・後継者対策・UITアーンの促進・所得向上につなげていきます。

●林業振興

森林施策の効率化を図るため、押谷線、城山栃谷線、西谷朝日出線の林道開設を引き続き実施します。また、木製品の販売対策と経営の改善に取り組み、事業体の育成を図ります。

●観光振興

観光施設が全体的に老朽化

してきたことに伴い、計画的に修繕を実施していきます。また、観光事業に携わる者の研修を行い、接客技術の向上を図るとともに、リピーター客の確保に努めていきます。

教育委員会

村民憲章の理念に沿いながら、学校・家庭・地域社会の三者が一体となって地域の教育力を高めていく教育的風土づくりに努めていきます。

●学校教育

キャリア教育を引き続き推進し、「望ましい勤労観・職業観を持ち、たくましく未来を切りひらく馬路っ子」の育成を目標として、学校や地域・家庭に定着するよう取り組みます。

●公民館運営の見直し

老朽化などによって活用される機会が減少した公民館施設の運営を見直し、新たな文化的施設の設置について検討します。また、公民館図書室についても、県立図書館などと連携し、利用しやすい環境づくりに努めていきます。



株式会社エコアス馬路村が、平成15年度から少しずつ取り組み始めた「木のカバン」モナツカシリーズ。

中芸地区商工会の平成18年度JAPANブランド育成支援事業として、モナツカのブランド化のため、ドイツ・フランクフルトの国際見本市会場で、2月9日から13日までの5日間開催された「アンビエンテ」という見本市に出展してきました。

# モナツカ ドイツ 国際見本市へ

## エコアス馬路村「木のカバン」



### ブランド化と本格海外販売目指す

#### 【今回の目的は】

現在のモナツカシリーズの海外への販売は、ニューヨークの現代美術館のショップ「モマ」に直接取り引きをしているほかは、インターネットによる個人客の注文がほとんどの状況です。

そこで今回、ブランド化という知名度の向上に加え、海外販売の拠点となるビジネスパートナーの獲得を目的に出展しました。

ターゲットとしては、モナツカシリーズを継続して取り扱っていただける、デイストリビューター（卸業者）や、

ショップ（小売店）を対象にし、会期中に当面五百個分の受注を契約するという目標を立てて臨みました。

#### 【出展の概要】

出展場所は、電車の駅から直結している六号館一階のデザイン商品を扱うエリアの一角でした。そこに、既存ライオンアップ商品のバッグ角・丸・角小、座布団、電卓に加え、試作品のバッグ角の黒色二種類を展示しました。

#### 【出展の体制】

日本から、中芸地区商工会一人、エコアス馬路村二人、

## アンビエンテ

この「アンビエンテ」という見本市は、ダイニンググッズ・リビンググッズ・ギフト関連の3つのセクションで構成される、世界最大の見本市で、世界128カ国から15万人を超える来場者がありました。

会場は、4階建ての建物が10館、17万平方メートルもあるとてつもなく広大な会場でした。

デザイナー一人、貿易サポーター一人、日本総合研究所一人、村役場一人の合計八人が参加し、現地採用スタッフ三人を加えた合計十一人の体制で取り組みました。

展示ブースの設営・撤去、展示説明・商談、ほかの出展企業の情報収集や、フランクフルト内のショップへの訪問を行いました。

#### 【成果】

モナツカのブースには、会期中に地元ドイツをはじめとしたヨーロッパやアメリカ・カナダ・ドバイなど二十九カ国から、デイストリビュー

ターやショッパ、そのほかデザイナーや報道関係者百十四社の来場がありました。

お越しくださったほとんどの方が、モナッカに対して興味や関心を示し、商品性やモナッカ事業の取り組みに対して、高い評価をしてくださいました。

会期中に本契約まで至ったのは、二件です。フランクフルトとカナダのショッパから、手始めとして計十一個の注文をいただきました。

また、会期中に本契約までは至らぬものの、取引先候補として十社の相手先が見つかり、現在、そのうち四社のデイストリビューターと、条件などにおいて、帰国後引き続き交渉をしています。

卸・小売以外では、インテリア・ファッショ雑誌の編集者から、新作商品を雑誌に掲載したいので、今後も定期的にプレスリリース（公開資料）を送ってほしいという要望がありました。ちょうど会期中に発売されていた有名なファッショ雑誌「VOGUE（ヴォーグ）」にもモナッカが紹介されていて、モナッカのデザインが、海外メディアから高く評価されていることを感じとれました。ブランド力

## 馬路コーナー

# 29カ国114社が関心

## 10社候補 4社と交渉中



▲ モナッカのブースの様子



▲ フランクフルトのショッパへの納品

バイスをいただきました。

### 【今後に向けて】

世界に目を向けた際、それぞれの国にそれぞれのライフスタイルや文化があり、海外への展開と一言で言っても、ターゲットにする国の絞り込みや、どういう客層へどういう売り方をするのか、また、外国語のコミュニケーションの課題など、そういった情報の収集やきめ細やかな販売戦略の必要性を強く感じさせられ、今後の展開において非常に参考になる機会でした。

今回の出展の本当の結果は、一年後に出るものかもしれませんが、そのためにも、今回の出展後のフォローに努めます。今年度のJAPANブランド育成支援事業では、これまでに、日本国内の展示会に二度出展し、さらにグッドデザイン賞も受賞し、知名度も向上してきていると思います。

また、今回の海外ドイツへの出展も含めたモナッカ・馬路村の林業の取り組みが、先日、テレビ東京の「ガイアの夜明け」という番組で放送され、放送後の一週間で、約六百個の受注につながりました。

の強化、知名度の向上のためには、今後も、これら雑誌への継続的な情報発信が重要になると考えられます。

また、デザイナー本人からの問い合わせもあり、自身のデザインを商品化してほしいという要望があり、エコアス馬路村の持つ木工技術に対しても注目を受けていると感じ

させられました。

### 【先輩のアドバイス】

日本から出展していた先輩企業に状況をうかがったところ、ほとんどの方が、「ヨーロッパでは、商品の評価はするが、初めて出展した企業とその場ですぐに契約することはまれだ」「ヨーロッパ人は、

自分たちのライフスタイルを変えようとする文化があるので、受け入れられるには、三年間は続けて出展し、商品の持つデザイン力や技術力とその文化を植えていかなければ、契約には結びつかない」とおっしゃっていました。そして、「展示会の後のフォローが一番大事」だと、アド

# キャリア教育を進める ⑧

## ～村ぐるみで育てよう～

将来自立できる子どもたちに育てるために始まったキャリア教育。成果も課題も見えてきました。

### 馬路地区

#### 保育・小・中学校連絡会

共通理解のもと、子どもたちを健やかに育てていくために、保育所・小学校・中学校の教職員が連携を取り合って進めているのが連絡会です。この会は、年二回もたれていきます。

六月の会では、子どもたちの生活実態が報告され、いくつかの共通した課題が出されました。

そのひとつに、『夜更かしをし、睡眠不足から、あくびをしたり、意欲的に行動できなかった。』

#### ～馬路っ子 6つの約束～

- ① 早寝・早起き・朝ご飯で元気なからだ
- ② 笑顔であいさつができる
- ③ 約束や時間を守ることができる
- ④ 整理整頓や掃除ができる
- ⑤ 話を静かに聞くことができる
- ⑥ 考えや思いを話すことができる

ない。朝の排便是三割にも満たない』などの生活リズムの未確立の実態が出されました。また、『ふまじめではないが、気がつかない。周りを気にして、自分の思いが出せない。周りから援助を受けることが、当たり前のようになっている。』などの意欲や主体性についての課題も出されました。

二月末の第二回目の会では、『馬路っ子六つの約束』も含めて、一年間取り組んでの課題をグループに分かれ、それぞれが付せんに書き出し話し合いました。

その中で、一番多く出されたことは、『気の利いた掃除ができていない。靴のかかとを踏んでいる』などの整理整頓・掃除に関係すること、また、『自らあいさつしようとする気持ちはまだ育っていない』などあいさつに関係する内容でした。

子どもたちが将来社会人、職業人として自立するための基礎となるこの取り組みを今後気長に、根気よく継続することが保育所・小学校・中学校に課せられています。

### 瀬戸田地域に学ぶ



小学校の発表

中学校の発表では、舞台の準備、発表の手順など教員の姿は見えず、すべて生徒たちが協力してつくりあげていました。ものおしせず、役になりきっていた演技発表は見事でした。

二月十六日、本村のキャリア教育の二本となつて、広島県瀬戸田地域の指定最終年度の発表会に参加しました。

特に、児童生徒が取り組んできたことを生き生きと発表している姿が印象に残っています。

小学校では、低・中学年で学んできたことが高学年としての自覚につながってきたこと、また、ボランティア活動や勤労生産活動を通して、自分の役割感・責任感が育ってきていることを感じました。



中学校の発表

者や地域も高まることのできたという報告があり、今後の村の進め方を改めて感じる事ができました。

# ～一年間学び、こんなに成長しました!!～

## 馬路小学校

### ひなまつり発表会

二年生の発表



三・四年生の発表



恒例の『ひなまつり発表会』を三月二日に行いました。それぞれの学級が、この一年間の学習で身につけてきたさまざまな力を使って発表しました。発表は、歌うことや演奏すること、劇をすることなどの

表現だけでなく、見通しを立てて練習することや友だちと一緒につくりあげてきたこと、また、みなさんに喜んでいただいたと感じることなどすべてが、キャリア教育でつけたい力につながっています。

## 魚梁瀬小学校

### 杉の子発表会

一年間の学習を発表する場として、二月二十七日、杉の子発表会を行いました。

一・二年生の劇『じゅげむ』。土佐弁を盛り込んだ劇を披露し、観客も大笑いでした。

魚梁瀬に山村留学にきた家族をオニとして登場させた三・四年生の創作劇『杉太郎』。仲よく暮らしたいとい

う願いが込められていました。

一年間総合学習で『森林学習』を続けた五・六年生。里山を受け継ぎ守っていくことの思いを発表しました。

また、全校が四つのグループに分かれ、グループごとに『魚梁瀬』についての詩を作りました。その詩に、校長先生がそれぞれ曲をつ

けてくれました。各グループが、曲についての説明や振り付けなど工夫し、魚梁瀬の魅力が詰まった作品を披露しました。

気付きを重視し、それぞれが課題を決め、追求するという「将来設計能力」などキャリア教育でつきたい力をかき間見ることができました。



1・2年生の発表



3・4年生の発表

# 魚梁瀬青少年育成実行委

## からの報告(下)

### 自ら工夫し、共感できる子に成長

十一月、中学校でかずらのランブシェードを作りました。同じ工程なのに、作る子どもの個性によって、全く違う物ができます。また、「竹で作るバウムクーヘン」という体育会系のお菓子を汗まみれで作りました。

二月二十八日から三月二日までの三日間、「魚梁瀬村」を魚梁瀬森林公園ログハウスにつくり、魚梁瀬小学校児童がその住人になりました。初代村長は佐々木純伍くん、助役は高橋侑子さん。もちろん魚梁瀬村では、マンガ禁止、テレビもなければ、トランプもありません。でも、おばちゃんたちと作る夕食は最高。いろりはないけど、野外で火を囲んでの夕食の味は、きつと忘れられないことでしょう。集団登校では、いろんな発見があって、四十分の通学路はあつという間でした。

三月には、中学生による「将来を語り明かそう」という座談会、卒業生を送る会を開催しました。

育成会では、改めて子どもたちの無限の可能性を感じました。こうして体験できる「場」があれば、子どもたちは工夫して遊び、友達と仲良くなり、他人の痛みがわかる人になることでしょう。これからも、いろんな体験ができる「場」づくりを育成会では企画実行していきます。

▶ バウムクーヘン作り  
◀ クリスマス会の劇



現在の子どもたちを取り巻く情勢は、情報も物もあふれかえっています。そんな子どもたちに対して「昔は物がなかったき、何でも工夫して遊んだものよ」「今の子は工夫せん」なんて声が聞こえてきます。

## 体験できる「場」づくり

「工夫しない」のではないのです。する必要がないのです。大人が工夫に工夫を重ねてできたおもちゃを、これ以上どう工夫できるのでしょ。

また、子どもたちが山や川に行こうとしても、「怖い行きかれない」と言われてしまいます。でも、子どもたちは、山も川もとても好きです。

そこで、魚梁瀬青少年育成実行委員会（以下育成会）では、いろんな体験ができる「場」を提供してきました。前号に引き続き、11月以降の活動について報告します。

十二月のクリスマス会では、一か月間練習した手品や劇を披露しました。自作自演ですから、なかなかうまくいきません。意見の対立もありましたが、それこそがコミュニケーションです。

一月には、村民駅伝競走大会にチームをつくって参加しました。

二月には、県境にある「お化け杉」を見に行きました。夜のキャンプファイヤーでのレクリエーションは創作劇です。テーマは「猫に鈴をつけるネズミ」。あなたたちネズミは（子どもたちのこと）、どうやって猫に鈴をつけますか？いろいろなアイデアが出て、とてもおもしろい劇ができあがりました。



▲ お化け杉の下で昼食



▲ どうやって猫に鈴をつける？



▲ おばちゃんを作る夕食



# 馬路村の歴史と伝説



(通算第127回)

馬路公民館長

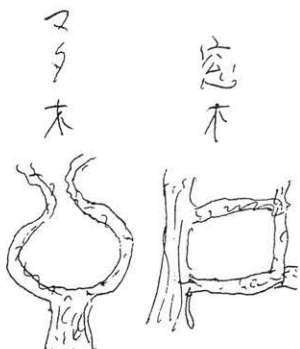
山中 巖

先号では傘杉が傘杉権現として尊ばれてきたことを記しましたが、旧魚梁瀬村・旧馬路村においては、山にかかわる村民が多く「山の神」などが古くから信仰されてきたと考えられます。

- 三、山へ行くのに梅干しを持っていくとけがをしない
- 四、山で迷って日が暮れたら、火をたけ
- 五、山小屋で女は歌をうたうな
- 六、山では男でも口笛をふいたり歌をうたったりするな

## 村の故事・俗信(十)

- 一、傘松は山の神の腰掛け、また天狗や山姥の休む木であるので切ってはならない
- 二、窓木やマタ木は山の神の休む場所であるので切るな



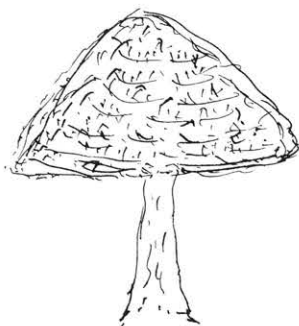
- 七、節分の豆を山へ持って行く
- 八、歯がぬけた夢、下駄の歯が欠けた夢を見て山へ行く
- 九、山で大木を切る前には、山の神を祭ってから切れ
- 十、ビワの木を屋敷に植える
- 十一、椿の木を庭に植える
- 十二、庭木について
- 十三、南天の木はめでたいが、あまり大きくなるとえんぎが悪い

今回は、江戸幕府が倒されて新しい希望にあふれた明治の時代が始まったころの、旧魚梁瀬村・旧馬路村の生活(農林業)や出稼ぎの状態を考えてみたいと思います。

明治元年より十年くらい前の安政四年、馬路村庄屋から郡奉行所への指出には「馬路村は山間嶮阻狭小の所柄にて、夏になると乾燥強く、寒気に至れば霜露の湿甚だしく、作物は不適の土地に候」と書かれ、飢饉にでもなれば、飢え死にをする人が多かった

の子孫と言われる方を現在の海陽町に尋ねたり、お手紙を交わすなかで、野根川・海部川の流域や周辺に、土佐の人々が藩政時代から明治にかけて、多く移り住んで開拓をしたことなどお聞きしました。また、私の友人(南国市)のTさんは、村を訪れるたびに、「私たちは魚梁瀬平氏の子孫である」と話して、平氏関係の資料を見つけると持って帰りました。南国市では、私の友人だけでなく何人かの方が、先祖は魚梁瀬から出てきていると言っていました。この話から、平氏の子孫と名乗る人々が、古より明治の初期にかけて、南国市方面へ移住したと考えられます。

## 傘松(傘木)



# タイ国訪問記

東谷望史 大歳昌彦 木下彰二



タイ語翻訳者のムーさん

「ごっくん馬路村の村おこし」大歳昌彦著をタイ語に翻訳出版した、ムティターパーニッチ女史（以下ムーさん）の『タイに来てください』との電話からタイ国の訪問が実現することとなった。ムーさんはタイの高校を卒業後、日本で勉強したいと大阪の大学に入学、その後松下電器で六年ほど働き、タイの農村社会に役立つ仕事をしたいと、通訳の仕事しながらタイで仲間を増やしているとのこと。タイ訪問のきっかけは、私たちにタイの地域づくりについて馬路村の村おこしを例に紹介してほしいということであった。私たちはタイの農村を案内してくれるなら行ってもよいと返事したことで、チュラロンコーン大学（日本の東大クラス）での講演が決まった。訪タイは農協組合長の東谷望史、ごっくん馬路村の村おこし著者大歳昌彦、役場の木下彰二の三名で行くことになった。

**事前知識として知っていたこと**  
 ① 沖縄の泡盛はタイ米（長粒米）で作られているということ  
 ② キックボクシングが盛んなこと  
 ③ 日本に輸出用の海老養殖が盛んなこと  
 ④ 海沿いに世界的なリゾート地があるということ  
 ⑤ 暑いこと  
 ⑥ ジャングルであること  
 ⑦ 象が国のいたるところにいるという推測

## タイ国二日目

メンバー三人が関西国際空港から出発したのが二月二十六日。約六時間でタイに入る（時差二時間、時計を二時間戻す）。夕方から国際交流基金の招待で夕食会に出席、タイ料理を堪能させてもらった。

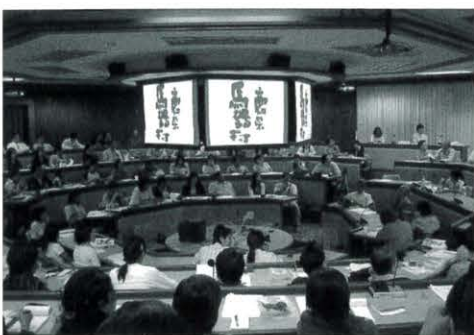


国際交流基金の皆さんと夕食会

東南アジアでの食事は、ホテル・レストランは衛生管理もできているが、農村に行けばかなり覚悟して食べなければならぬ。食事の後、念願のムエタイをラーチャダムヌーンスタジアムで観戦、ホテルに着いたのが十二時近くであった。

## バンコクでの二日目

チュラロンコーン大学におけるタイの農村を



チュラロンコーン大学でのシンポジウム

農村をどう活性化するかというシンポジウムの中で、馬路村の取り組みを東谷が映像で紹介しながら約一時間の講演、その後大歳と木下が行った。聴衆は約一三〇人。学生から社会人、国の関係者までさまざまであったと思う。人口が一〇〇人ほどの小さな村の取り組みであるが、タイも日本同様に都市と地方の格差において、今後農村や地方をどう活性化させるか日本の優良な事例を学びたいと結構真剣に聞いていた。



モナックを持って訪ねてくれたジャーさん



馬路村の本が店頭と並ぶ



たくさんの人が聞いてくれる



本屋さんでの交流



ヤシの葉で葺いた別荘。ここで泊まることになる

この日の宿はヤシの葉で葺いた高床式の別荘であった。広さは約二畳。蚊の対策として蚊帳をつり下げてある。蚊帳で寝るのは四十年ぶりの体験となった。

## タイ国三日目

だんなさん（歌手）と一緒に訪れてくれた。この日は一日が交流で終わる。

車で三時間移動のあと着いた所はハーブ園を経営するドンバン村。村民や取材の記者、テレビ局の待ちかまえる森の中のセミナーに参加。ここでも同様の話をして夕食会に参加する。



ハーブの村・ドンバン村でのセミナー



タイの農村のゆったりとした風景

気候が冬から夏に変わるこの時期、日中は結構暑いが、朝方はタオルケット一枚では少し寒いくらい。快適とはいえない別荘の生活は、トイレとシャワーに生活文化の違いを思い知る。水洗トイレは近くに共同があり、ティッシュペーパーはない。私たち日本人にはティッシュなしの後処理にやはり無理があり、常にティッシュペーパーを持ち歩くこととなった（トイレにペーパーが詰まるという理由で紙使用禁止の所もある）。

タイの農村での生活には風呂がない。全てシャワーで済ませているようである。また、お湯はなく、すべて水であった。この日からシャワーは三日間水が続いた。暑い国とはいえ、朝から水をかぶるのは覚悟がいる毎日となった。

**それからタイ国**

四日目はプーケット島に飛び、船でヤオ島に渡る。ヤオ島では昨年、村を訪れてくれたニン君が医者をして、ニン君の案内で島の人達との交流が夜まで続いた。「タイにも馬路のような所がある。」ムーさんの一言でタイ行を決めたその場所に着いたのは五日目。川に石がある。水がきれい。魚がいる。馬路と違うのは山が低い。樹木が違う。その村に着いたのは夕方の七時。すぐに水着になって三人で川で泳ぐ。タイ農村でも泳げる川は少ないと思われた。

一週間のタイ交流であったが、発展途上国の農村だからこそ体験できたことは大きい。観光地廻りでは知りえない国の文化をムーさんの案内で体験させていた。



ヤオ島のニン君



タイの漁村で日本に連れて行ってとせがまれた

タイ農村を廻る中で感じたことを一つ。日本という国は四季があり南北が長く食べ物素材は当然北海道と沖縄では違う。取り寄せて食べたくなくなる。そういう気候の違いが宅配という農産物や鮮魚などさまざまな産直事業につながったと思う。一年を通してあまり気候変化がなく米が一年に三回収穫できるタイにおいて、どの地域でも食の素材の変化を感じなかった。そこが日本と大きく違っていた。

旅の間、通訳をしていただいたムティターパーニッチさんには、東谷と大歳の旅費用負担まで国際交流基金に掛け合せて頂き、又、お世話になった国際交流基金の皆さまにも感謝を申し上げたい。



タイの英字新聞でも大きく取り上げられた

**行って見て感じたこと**

- ① 日本に友好的である
- ② 日本人に顔が似ている
- ③ 地方の道路づくりとまちづくりが上手
- ④ 日本車が90%以上走っている
- ⑤ 交通ルールはあまり守られていない
- ⑥ タバコを吸う人が少ない
- ⑦ 思ったほど暑くなかった
- ⑧ 象はどこにもいなかった
- ⑨ 象が生息するのは一部の地域であった

バイクで通学する子どもたち

# Mr. カールの エッセイ

⑩ 外国語指導助手 カール・レイフ・エリクソン  
(アメリカ合衆国ミネソタ州サークルバインズ 出身)

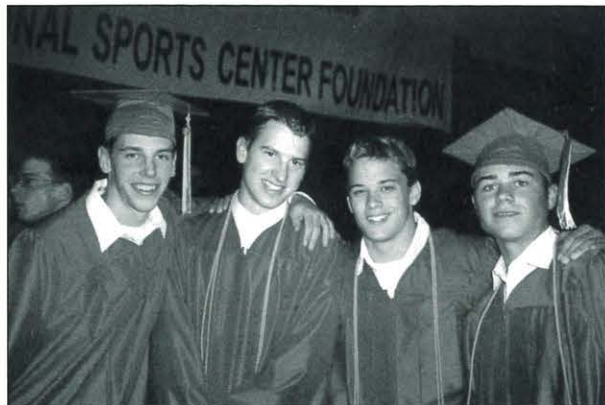
## ミネソタの卒業式

こんにちは。僕はみんなに、この暖かい日差しの季節を楽しんでもらい、そして僕が夏を迎えたときと同じようにウキウキしてもらいたいと思っている。この号では「卒業式」について書きたいと思う。ミネソタで僕自身が経験した卒業式を紹介しよう。

ミネソタでは、とてもおもしろい卒業式を行う。僕の最初の卒業式体験は、高校の全課程を修了したときだった。アメリカでは、保育園、小学校、中学校の卒業式はないのだ。高校を終了したときに、初めて僕たちは卒業式を迎える。

僕は卒業式で赤い帽子のついている長くて赤い卒業式用のローブ（礼服）を着た。僕の高校の色は赤、だから、すべてが赤なんだ。僕の高校の卒業式は、学校では行われず、近くの大きなスポーツセンターの中で行われた。なぜなら、卒業するクラスの全員をあわせると約250人の生徒がいたので、250人の生徒と両親が参加するためには、とても大きな建物が必要だったからだ。

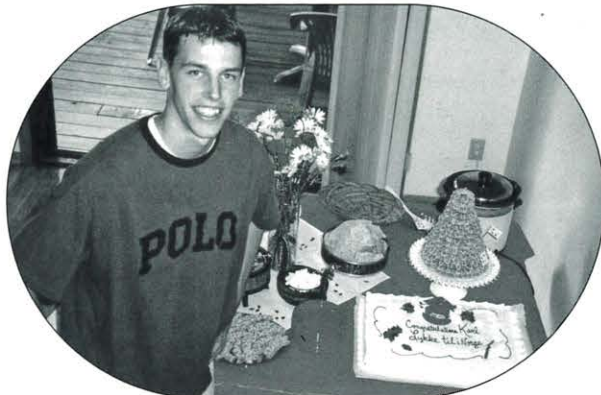
卒業式は1時間30分くらいで終わった。式順は次のようなものだ。①生徒入場②校長先生の話③来賓の話④先生の話⑤生徒の音楽演奏（約70人のオーケストラ）⑥生徒の話⑦校長先生の閉会のあいさつ



▲ 親友たちと（右端は前号で登場したライアン）

## 帽子を空高く投げ上げ祝福

式典の最後に生徒全員が祝福、喝采を行うために立ち上がり、いつも帽子を空高く投げ上げるのだ。僕も帽子を高く投げ上げた。とても興奮していたし、大学への進学を楽しみにしていたからだ。式典の後、卒業パーティを家で行った。多くの友達、親族、先生が来てくれた。とても楽しかった。



▲ ママ手作りのパーティーケーキ

僕の大学の卒業式は本当にすごかった。それは屋外で、すばらしいミネソタの夏の日に、大学の大きなフットボールスタジアムで行われた。そこは大変広い場所だった。なぜなら、約650人の学生、両親そして時々友達も参加するからだ。僕の大学の卒業式は、あらかじめ席を予約して参加するほどの大規模な式典だった。僕は黒いローブ（礼服）を着て、黒い帽子をかぶった。

大学の卒業式は2時間くらいで終わった。式はいつも学生の入場、着席で始まり、続いて、開会のあいさつで式典が始まる。僕の大学では、学長が開会のあいさつをした。それはすごくおもしろい話だけど、とても力強く、興味深い話でもあった。学長のあいさつの後は、学生のオーケストラによる演奏があった。続いて、2人の高名な教授からの話があった。その話は大変すばらしかった。なぜなら、彼らは人生に夢を持ち生きることや、挑戦についての明確なメッセージを語ってくれたからだ。

最後に、学生の話と学長の閉会のあいさつがあった。卒業式の終わりに、僕は祝福をし、そしてまた帽子を空高く投げ上げた。友達、家族と一緒にすばらしい時だった。

僕は、みんなにも卒業式を大いに楽しんでほしいと願っている。



▲ 夢と挑戦を胸にか



# ふるさと の便利23

村民の皆さま、お元気ですか。今年も記録的な暖冬で過ごしやすいのですが、いろいろなところに影響が出ているようです。

私は生まれも育ちも魚梁瀬です。まだ魚梁瀬ダムができる前の昭和三十四年に生まれ、魚梁瀬小学校、中学校を卒業し、高知市内の高校に進みました。そして、地域医療で活躍する医師をめざして高知医科大学（現在の高知大学医学部医学科）に進学し、昭和六十一年に医師免許を取得しました。現在は、芸西村にある医療法人みずき会芸西病院で内科医として勤務しています。県東部の医療、福祉をより良いものにするよう、微力ながら職員みんなと力を注いでいます。田舎出身の医者ということで、地元患者さんからは親近感を持ってもらっているようです。

魚梁瀬を離れて三十二年が経ちました。魚梁瀬には両親（勉、征子）や祖母（百合子）が健在で暮らしていますので、時々帰省します。国道55号線から安田東洋線に入ると、道路は曲がりくねるのですが、いつも変わりのない自然の中をドライブしていると、気持ちに落ち着きます。魚梁瀬の実家に

馬路村は  
の清涼剤

▼ 芸西病院診察室にて



南国市  
山崎 一明  
(魚梁瀬出身)

帰り、温泉につかっている時間は、至福の時です。ただ、過疎の進行は否めなく、子どもたちの元気な声あまり聞こえてこないのは寂しく思います。

最近、出身地を尋ねられると、ごっくんの村と言えば、ほとんどの方がわかってくれます。そのネット通販の商品にも興味があります。先日もテレビ番組で紹介されました。私もぜひ一つ買ってみたくまりました。

これからもますます元気で魅力ある馬路村であるよう、がんばってください。村出身者として、陰ながら応援させていただきます。

## 森の名手・名人 100人に認定

## フォト人ウオッチング<sup>39</sup> 四国 勝さん(相名)



四国さんが選ばれた「森の名手・名人」とは、社団法人国土緑化推進機構が平成十四年から行っている「もりのくに・につぼん」運動の一環で、森にかかわる生業や地域生活に染みこんだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の技術・技能などの模範となっている達人のことをいい、「森づくり部門」「森の恵み部門」「加工部門」「森の伝承・文化部」の四部門において選ばれるものです。



▲ 曲げわっぱの魅力を伝える

と四国さんはおっしゃいます。村では、交流人口の拡大策の一環として、「まるごと体験」の取り組みを実施していますが、四国さんはそのメニユーの一翼を担う人材でもあります。

これからもますますお元気で、広く一般にその技と文化を伝承していただきたいと願っております。

四国さんが選ばれた「森の名手・名人」とは、社団法人国土緑化推進機構が平成十四年から行っている「もりのくに・につぼん」運動の一環で、森にかかわる生業や地域生活に染みこんだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の技術・技能などの模範となっている達人のことをいい、「森づくり部門」「森の恵み部門」「加工部門」「森の伝承・文化部」の四部門において選ばれるものです。

## 馬路村俳壇

鯉の池椿筏となりにけり  
 笹鳴の今日はとどのひ物を干す  
 早咲きのミモザの花や別れの季  
 囀や双手に余まる出合ひなり  
 赤塗りの枡は親より鬼は外  
 万年青の実霜をかぶりておりにけり  
 梅の花荷物着いたと津軽より  
 十六夜の月指先に鬼やらい  
 初スキー南国育ちの胸おどる  
 待つ客も紅梅の窓見ていたり

山崎喜久子  
 山崎喜久子  
 金山久里子  
 中屋 良子  
 山本 美幸  
 山崎 裕之

転勤の貼紙ドアに春の雲  
 幼らのおかわりいくつ白子干  
 年の豆母さんいくつと聞かれをる  
 摘んでゆく嫁ぎゆく娘と露の臺  
 左義長や焦げしみかんを子が吹くも  
 雀翔つなかに目白のおくれ翔ぶ  
 血鉢まつり城も竜馬もさつま芋  
 水草生う城の下なる刃物市  
 重ね着のいろいろかいる緋を隠し  
 探梅や水と競えるししおどし

高芝 俊二  
 高芝 栄子  
 島田 智香  
 氏原 淑  
 池 蘭子  
 東谷 晴男

## メタボリック川柳

11月22日にメタボリックに関する川柳を募集したところ、たくさんの楽しい川柳を作っていただきました。どの川柳もうんうんとうなずけるものばかりで選考するのに苦労しましたが、最優秀賞ならびに優秀賞を決定しましたので、ご紹介します。

最優秀 『生まれそう 昔は私 今はお父さん』  
 優秀 『腹まわり 巻き尺足りず 測定不能』

作品一覧  
 「宴会で ベルトゆるめる メタボリック」  
 「メタボリック はじらいもせず ふろに入る」  
 「この腹は 談合太りと 違います」  
 「お父さん おなか回りは 役力士」  
 「幻影(イリュージョン) 我が贅肉も 消してくれ」  
 「別腹と たべたデザート my脂肪」  
 「若い頃 あこがれていた ふくよかばあちゃん」  
 「運動と バランス食事 メタボリ追放」  
 「腹まわり 気にせぬ食欲 命とり」  
 「この腹が メタボリックの 見本です」  
 「三段ホック きかない今では ゴムウエスト」  
 「妊娠かど 思わず疑う 脂肪腹」  
 「おめでたを メタボリックと 間違われ」  
 「健診の 前の晩だけ 休肝日」  
 「やせてると 言われるけれど 三段腹」  
 「腹回り 昔貫禄 今メタボリ」  
 「年とると チチよりハハ(腹)が でかくなる」  
 「お父さん おなかをベルトに のせないで」  
 「お互いに 結婚前を思い出し 今メタボリ」

受賞者には、12月18日、馬路温泉で3・1・2お弁当箱ダイエット法を活用した『メタボリックディナー』を味わいながら、自らの体をつみつめていただきました。

健康づくり推進協議会・健康福祉課

## 平成18年度 宝くじ助成事業

平成18年度宝くじ助成事業で次のとおり整備しましたので、お知らせします。コミュニティ用品として、馬路村コミュニティセンターにテーブル12台、イス50脚、パラソルセット16個、木製テーブルセット10組、木製丸テーブル4台、木製角テーブル2台、木製イス26脚を整備したほか、魚梁瀬丸山公園にテント5張、木製長イス7脚、木製丸テーブル4台、木製角テーブル4台、木製イス32脚、木製テーブルセット10組を整備しました。

さらに、紅葉や景観を大切にしたい風景づくりとして、日浦地区をモデルに四季を感じるコナラ、イロハモミジ、ノムラモミジ、ブナなどの植樹に取り組みました。



## お知らせ

4月17日(火) 献血バスがやってきます

時間	場所
9:30~10:30	就業改善センター
12:00~14:00	農協 ゆずの森

交通事故や病気などで緊急に血液を必要とし、“命を救う治療”に欠かせない輸血ですが、高知県では輸血用血液が不足しているのが現状です。献血は、一人一人のボランティア精神によって支えられ、尊い命が守られています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■問い合わせ 健康福祉課 Tel44-2112

## 平成19年度地籍調査事業

本年度の調査区域は、相名地区の東門屋、門屋西、栃ノ谷、上坪、門屋谷勢、境ノ内となっています。それぞれの字、隣地に土地を所有されている方には、追って説明会、境界の筆境確認のご案内をお知らせしますので、ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

■問い合わせ 産業建設課  
 Tel 44-2336

## 災害情報収集・提供システム 高知県内試行開始

地震・台風などの災害時には、住民の皆さまからの情報により災害への対応のスピードアップにつながっています。そこで、今回皆さまが発見した道路災害情報をパソコンや携帯電話から簡単に提供できる「災害情報収集・提供システム」を県内道路を対象に試行開始します。ぜひ、皆さまの情報提供をお願いします。

パソコンから…<http://www.douro-saigai.go.jp>  
 携帯電話から…<http://bbs.douro-saigai.go.jp/>  
 ■問い合わせ 四国地方整備局道路部道路管理課  
 Tel 087-811-8325

## 村内あちらこちら



2月25日 森林救援隊間伐事業



2月28日 ベルマーク教育財団走り方教室



3月4日 老人クラブ医療介護講習会



3月11日 魚梁瀬中学校卒業式



3月15日 馬路中学校卒業式

## 村のできごと

### 《2 月》

- 2日 東部美術展・ふるさと名勝写真展（北川村）（～5日）
- 5日 安芸郡市連合婦人会管内交流研修会（ゆずの森）  
小学生スキー教室（久万スキーランド）
- 6日 臨時議会
- 9日 モナック見本市出展（ドイツ・フランクフルト）（～13日）
- 10日 魚梁瀬子ども会ウインターキャンプ（～11日）
- 16日 確定申告・住民税申告受付開始（～3月15日）
- 18日 中芸地区子ども駅伝競走大会
- 23日 魚梁瀬地区確定申告・住民税申告受付
- 25日 森林救援隊間伐事業
- 27日 魚梁瀬小学校杉の子発表会
- 28日 ベルマーク教育財団走り方教室（魚梁瀬小・中学校）  
魚梁瀬小学校通学体験合宿（～3月2日）

### 《3 月》

- 2日 馬路小学校ひなまつり発表会
- 3日 森林救援隊間伐事業
- 4日 老人クラブ医療介護講習会
- 8日 3月定例議会（～14日）
- 11日 魚梁瀬中学校卒業式  
老人クラブ医療介護講習会
- 12日 南海地震勉強会（～13日）
- 15日 馬路中学校卒業式
- 18日 魚梁瀬小学校卒業式
- 20日 馬路小学校卒業式
- 23日 村内小・中学校修了式・離任式
- 24日 馬路・魚梁瀬保育所卒園式
- 25日 社会福祉協議会 のみの市
- 28日 庄屋祭・鬼門堂祭  
村表彰
- 30日 高知県議会議員選挙告示

### 編集後記

「広報紙担当は教育委員会ではなく村長部局にした方がよいのではないか」という論議をよく耳にします。現在、各課に一人ずつ広報編集委員をおき、企画段階から編集作業にかかわってもらっています。まだまだいたらぬ点がたくさんあるように感じます。今後、編集作業について見直しを行い、よりよい紙面づくりに努めていきたいと思えます。

（清）

## 4月・5月 むらの行事予定

月	4 月				月	5 月			
日				日					
1	日			1	火	春の遠足（馬路小学校）			
2	月			2	水	魚梁瀬子育て支援教室（多目的施設）10:00～12:00			
3	火			③	木	馬路温泉テント村（～5日）	憲法記念日		
4	水			④	金		みどりの日		
5	木	馬路・魚梁瀬保育所入園式		⑤	土		こどもの日		
6	金			6	日				
7	土	馬路村観光開き 魚梁瀬桜まつり（魚梁瀬丸山公園）		7	月				
8	日	高知県議会議員選挙 安芸郡福祉ふれあいの集い（馬路温泉駐車場）		8	火				
9	月	始業式・入学式（村内各校）		9	水	馬路温泉バラ風呂			
10	火	絵本のよみきかせ（多目的施設）10:30～11:00 わくわくキッズ英語広場 16:30～17:15		10	木	馬路子育て支援教室（交流センター）10:00～12:00			
11	水			11	金				
12	木			12	土				
13	金	人権・行政相談（就業改善センター）10:00～12:00		13	日				
14	土			14	月				
15	日	参観日（魚梁瀬中学校） 魚梁瀬小・中学校PTA総会		15	火	絵本のよみきかせ（多目的施設）10:30～11:00			
16	月			16	水	馬路温泉バラ風呂			
17	火	献血（就業改善センター）9:30～10:30 （ゆずの森）12:00～14:00		17	木				
18	水	魚梁瀬子育て支援教室（多目的施設）10:00～12:00 新入生歓迎遠足（魚梁瀬中学校）		18	金				
19	木	馬路子育て支援教室（交流センター）10:00～12:00 絵本のよみきかせ（交流センター）10:00～10:30		19	土	参観日（馬路小学校）			
20	金			20	日				
21	土	職域ソフトボール大会（村民運動場）		21	月	行政相談（就業改善センター）10:00～12:00			
22	日	参観日（魚梁瀬小学校）		22	火				
23	月	犬・猫ひきとり		23	水	馬路温泉バラ風呂			
24	火	全国学力・学習状況調査（村内各校）		24	木	子宮がん検診（就業改善センター）8:30～10:00 （多目的施設）11:30～12:00			
25	水	馬路地区PTA総会		25	金				
26	木			26	土				
27	金			27	日				
28	土			28	月	犬・猫ひきとり			
29	日		昭和の日	29	火	絵本のよみきかせ（交流センター）10:30～11:00			
③⑩	月		振替休日	30	水	馬路温泉バラ風呂			
				31	木				

人口	増加				減少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
2月	0	1	0	1	2	0	0	2	1,124
3月	0	16	0	16	2	24	0	26	1,114

（馬路 863人、359世帯・魚梁瀬 251人、122世帯）  
馬路村特別村民 2,181人（3月31日現在）

編集発行：馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL0887-44-2216 FAX0887-42-1010

E-mail adress umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷：有限会社 大鳥（安芸タイプ）